

総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の実践研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

受賞年月日	氏 名	職 名 等	受 賞 理 由
平成21年 9月25日	中 沢 正 隆	電気通信研究所教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器(EDFA)の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成21年 3月25日	川 人 貞 史	法 学 研 究 科 教 授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年 3月27日	加 藤 康 司	工 学 研 究 科 教 授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年 9月25日	井 上 明 久	金属材料研究所所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料「金属ガラス」を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年 7月31日	小 柳 光 正	工 学 研 究 科 教 授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年 3月24日	鈴 木 厚 人	副学長・理学研究科教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小 谷 元 子	理 学 研 究 科 教 授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を収めた女性科学者に贈られる「第25回張橋賞」を受賞したため。
平成17年 6月29日	大 野 英 男	電気通信研究所教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

平成21年度

氏 名	職 名 等	受 賞 理 由
スペイン語教科部会		全学教育におけるスペイン語教育において、デジタル技術を多角的に取り入れる等、新しい言語教育観に基づくスペイン語教育の改善、発展に貢献し、学生から高い授業評価を得た。
石 田 秀 輝 古 川 柳 蔵	環 境 科 学 研 究 科 教 授 環 境 科 学 研 究 科 准 教 授	環境学という全く新しい学問体系を構築するための革新的アプローチとしての環境リーダー教育システムを実践し、即実践型環境人材の養成に貢献した。
末 光 眞 希	学 友 会 文 化 部 長 (電 気 通 信 研 究 所 教 授)	学友会文化部長として、学友会文化部諸団体をとりまとめ、百周年記念行事における音楽活動の指導等、学生教育における課外活動の活性化に貢献した。
永 富 良 一	学 友 会 体 育 部 長 (医 工 学 研 究 科 教 授)	学友会体育部長として、長年にわたり体育系課外活動の振興と支援に努め、学友会文化部との連携を深める等、課外活動の活性化と発展支援に貢献した。

平成20年度

氏 名	職 名 等
佐 藤 明	医 学 系 研 究 科 准 教 授
末 松 和 子	経 済 学 研 究 科 准 教 授

平成19年度

氏 名	職 名 等
張 山 昌 論	情 報 科 学 研 究 科 准 教 授
馬 場 護	サイクロトロン・ラジオアイソトープ セ ン タ ー 教 授

総長賞受賞者 平成21年度

本学の教育目標にかなない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士

今 野 麻紀子	文 学 部	浅 野 成 美	薬 学 部
芳 賀 未来恵	文 学 部	田 中 一 志	工 学 部
磯 野 あずさ	教 育 学 部	西 坂 光	工 学 部
三 浦 奈緒美	法 学 部	PRODAN IULIA ALEXANDRA	工 学 部
鈴木 慶子	法 学 部	金 井 駿	工 学 部
小 池 達 哉	経 済 学 部	平 賀 佑 也	工 学 部
佐 藤 百利恵	経 済 学 部	石 原 大 資	工 学 部
寺 田 聡 志	経 済 学 部	川 平 啓 太	工 学 部
十 鳥 健 太	理 学 部	三 浦 耕 太	工 学 部
高 力 由香子	理 学 部	鈴木 直 紀	農 学 部
浅 野 晴 香	理 学 部	松 浦 宏 樹	農 学 部
阿 部 雅 広	医 学 部		
佐 藤 一 輝	医 学 部		
軽 部 健 史	歯 学 部		

修士

山 本 哲 矢	工 学 研 究 科
阿 部 直 人	工 学 研 究 科
荒 井 達 朗	工 学 研 究 科
間々田 圭 祐	医 工 学 研 究 科

専門職

大 澤 貴 史	法 学 研 究 科
---------	-----------

博士

日 高 聡 太	文 学 研 究 科
滝 古 美知香	教 育 学 研 究 科
Nguyen Chi Nghia	経 済 学 研 究 科
田 中 守	理 学 研 究 科
中 山 耕 輔	理 学 研 究 科
澤 崎 郁	理 学 研 究 科

古 瀬 祐 氣	医 学 系 研 究 科
山 下 慎 一	医 学 系 研 究 科
白 石 成	歯 学 研 究 科
BHUIYAN M.D.SHENUJANIN	薬 学 研 究 科
陣 内 佛 霖	工 学 研 究 科
熊 野 峻	工 学 研 究 科
難 波 雅 史	工 学 研 究 科
田 中 知 成	工 学 研 究 科
柴 田 央	農 学 研 究 科
劉 振 濱	国際文化研究科
GOPAL DAS	情報科学研究科
宮 坂 恒 太	生命科学研究科
兒 玉 大 輔	環境科学研究科
今 野 文 子	教育情報学教育部

学友会長賞受賞者 平成21年度

4年間の競技成績が優秀である当該年度卒業生を表彰するものです。

氏 名	部 ・ 団 体 名
高 橋 基 史	吹 奏 楽 部
大 橋 悠 輔	オ リ エ ン テ ー リ ン グ 部
藤 田 洋 人	弓 道 部

氏 名	部 ・ 団 体 名
打 和 知 憲	競 技 舞 踏 部
松 下 ステファン悠	水 泳 部
今 泉 卓 真	陸 上 競 技 部

学内表彰

沢柳賞受賞者

「沢柳賞（東北大学男女共同参画奨励賞）」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

平成21年度

氏名	職名等	受賞部門	受賞課題名
下 夷 美 幸	文学研究科准教授	研究部門	離婚後の養育費政策と女性の地位に関する研究—国家による家族介入的政策の両義性
青 葉 理 学	振興会	活動部門	博士課程後期3年の課程の女子学生の優れた研究に対する顕彰活動（黒田チカ賞）
女 性 と 労 働 研 究 会		プロジェクト部門	女性研究者とキャリア形成の条件—留学生のキャリア形成過程に着目して—
山 崎 都 病 院 医 員		活動部門（特別賞）	性差に基づく高齢者終末期ニーズの調査と啓蒙

平成20年度

氏名	職名等	受賞部門	受賞課題名
東北大学川内 けやき	保育園保護者会	活動部門	大学の特色を活かした付属保育園施設作りのためのネットワーク構築
トウムソフ オドントヤ	環境科学研究科博士課程学生	プロジェクト部門（特別賞）	モンゴルにおける女性への暴力拡大に関する社会人類学的分析

平成19年度

氏名	職名等	受賞部門
齊 藤 綾 美	教育学研究科特別研究員	研究部門
阿 部 未 央	法学研究科博士課程学生	研究部門（特別賞）
工学研究科 機械・知能系男女共同参画推進委員会 同WGおよび女子学生交流会学生スタッフ		活動部門
尾 崎 博 美	教育学研究科博士課程学生	プロジェクト部門
八 木 美保子	教育学研究科博士課程学生	
水 原 克 敏	教育学研究科教授	
生 田 久美子	教育学研究科教授	
ヤマモト ルシア エミコ	文学研究科専門研究員	プロジェクト部門（特別賞）

平成18年度

氏名	職名等	受賞部門
吉 田 浩	経済学研究科助教授	研究部門
遠 山 智 子	理学研究科教育研究支援者	活動部門
鈴木 美智子	理学研究科教育研究支援者	
玉 江 京 子	理学研究科助手	活動部門
海老原 孝 枝	病院「子育てに関する女性医師の会」代表	
橋 本 鈺 市	教育学研究科助教授	プロジェクト部門

東北大学藤野先生賞受賞者（魯迅賞）

学術交流を通じ東北大学の教育研究の発展に功績のあった中国人又は中国の団体を表彰するものです。

東北大学藤野先生賞

平成21年度該当なし

平成20年度該当なし

平成19年度該当なし

平成18年度該当なし

授賞年度	氏名	所 属 等
平成17年	孫 毅	北京魯迅博物館館長

東北大学魯迅賞

授賞年度	氏名	所 属 等
平成16年	顧 秉 林	清華大学総長

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

東北大学藤野先生記念奨励賞

授賞年度	氏名	部 局
平成21年	王 秀 芳	文学研究科
	珠 欄 其 其 格	医学系研究科
	馬 麟	工学研究科
	車 佳	国際文化研究科
	王 紅 霞	生命科学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成19年	王 冷 然	法学研究科
	劉 農 光	理学研究科
	陳 鋭	歯学研究科
	岳 新 艷	工学研究科
	袁 媛	農学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成17年	薩 日 娜	文学研究科
	金 光 宇	経済学研究科
	代 紅 梅	医学系研究科
	俞 志 前	歯学研究科
	白 麗 晨	工学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成20年	張 蓉 蓉	経済学研究科
	吳 哈 申	理学研究科
	王 保 珍	薬学研究科
	張 宇	工学研究科
	王 弘	情報科学研究科

授賞年度	氏名	部 局
平成18年	覃 慧 玲	理学研究科
	杜 瑋	医学系研究科
	韓 峰	薬学研究科
	常 春 涛	工学研究科
	侯 旭 濱	生命科学研究科

学内表彰

本多光太郎記念賞受賞者

国際学術交流を通じ、東北大学の教育研究の発展に功績のあった外国の個人又は団体を随時表彰するものです。

本多光太郎記念賞

平成21年度該当なし

平成20年度該当なし

平成19年度該当なし

授賞年度	氏 名	国 籍	所 属 等
平成18年	パトリック・ブジャン	フランス	国立中央理工科学校リヨン校 学長
	ルノー財団		
	アルベール・ブレヴォ	フランス	国際教育学研究センター 所長
	アラン・ストーク	フランス	国立応用科学院リヨン校 学長
	レオ・ヴァンサン	フランス	国立中央理工科学校 国際交流部長
	アラン・レザ・ヤバリ	フランス	グルノーブル国立総合技術研究所 教授

平成17年度該当なし

授賞年度	氏 名	国 籍	所 属 等
平成16年	ジョン・ストラリー	イギリス	クランフィールド大学名誉教授
	リンゼイ・グリアー	イギリス	ケンブリッジ大学教授
	ロバート・ジェニングス卿	イギリス	元国際司法裁判所長官

東北大学学章・スクールカラー・学生歌・ロゴマーク

東北大学は長年にわたり正規の学章、スクールカラー、学生歌を持っていませんでしたが、平成19年6月にこれを制定しました。学章は東北大学ロゴマークとし、スクールカラーは東北大学ロゴマークの公式カラーの「紫」としました。学生歌は、昭和28年度に学友会で学生歌として選定され、歌い継がれてきた「青葉もゆるこのみちのく」としました。

ロゴマークは、平成19年6月に東北大学創立100周年を迎えることを機に、ユニバーシティ・アイデンティティを明確にし、国内外の知名度や信頼性を向上させるため、平成17年4月に制定されました。“creativity” “global” “tradition” をキーコンセプトに、昔から宮城野や仙台を象徴する植物とされている「萩」をモチーフとして、品格を持って、世界に大きく広がっていく動きを表現しています。公式カラーは「紫」と「黒」で、「紫」は知性と創造力を、「黒」は勤勉と実践力を表しています。

